

教 科	国 語	科 目	文学国語
履修条件 対象生徒	全員履修（2年・3年で分割履修） デザイン科 3学年		
学習目標	・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。 ・他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	〔授業〕 ・現代の随筆・小説などについて読解や話し合いを通じて内容の構成・論理の展開・登場人物の心情を的確に把握する。 ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈し、自分の考えを深める。 ・目的や場に応じた話題を設定し、自分の考えをまとめ、的確に相手に伝わるように表現する。 〔家庭学習〕 ・ワークシートを手がかりに事前に学習内容に触れたり学んだことについて確認したりする。 〔その他〕 ・検定勉強の補助や基礎的基本的事項の確認を行う。 ・漢字テストと関連付けた語彙学習を通じて、基礎的な漢字力を身に付ける。		
学習計画 と ね ら い	<1学期末考査まで> 心を見つめる 飛ぶことを知っている魂 クルミの小部屋 小説を楽しむ（二） 待合室 おぼろ月 古典の世界4 桐壺 <2学期末考査まで> 文化を感じる 夏の月 共感と驚異 短歌・俳句に親しむ 短歌 俳句 小説を味わう 山椒魚 古典の世界5 能登殿最期 四面楚歌 <学年末考査まで> 名作を読む こころ ○具体例をもとに、筆者のメッセージを読み取る。 ○筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。 ○特徴的な表現に注目しながら作品を読み味わう。 ○情景描写の効果を考えながら読む。 ○文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ○筆者の考える夏の月の良さをとらえる。 ○引用された作品を読み、筆者の主張を確かめる。 ○短歌俳句の表現技法・鑑賞のしかたを学ぶ。 ○小説読解の基本や、鑑賞方法を確認する。 ○能登殿の描かれ方をとらえ、読みを深める。 ○漢文の表現に着目し、項王の心情を読み取る。 ○登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	・想像や心情を豊かにする働きがある言葉を理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。
評価方法	○評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」から総合的な評価を行う。 ○定期考査は、知識・理解を偏重することなく、3つの観点で評価できるよう作問を工夫する。 ○定期考査だけでなく、年間を通じて発表、作文、課題など、生徒の主体的な活動も重視する。またそれらの表現領域においては、テーマの設定から発表にいたる学習過程の全体を評価の対象とする。		